

特別支援教育専門研修 事前オリエンテーション



I. はじめに

II. 専門研修の概要

III. 研修中の生活



独立行政法人
国立特別支援教育総合研究所

1

みなさん、こんにちは。

国立特別支援教育総合研究所の専門研修に参加される皆様には、事前学習のコンテンツ視聴等をお願いしております。

まず、はじめに事前学習の内容について説明した後、特別支援教育専門研修の事前オリエンテーションとして、「専門研修の概要」と「研修中の生活」について、説明します。

I. はじめに



2

まず、事前学習の内容について説明します。

事前学習の構成

1. 事前オリエンテーション
 2. 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築
 3. インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進
- －特別支援教育の理念と基本的な考え方－

3

事前学習は、「1. 事前オリエンテーション」と、「2. 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」及び「3. インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進－特別支援教育の理念と基本的な考え方－」のコンテンツ視聴で構成されています。

まず、一つ目の「事前オリエンテーション」では、「専門研修の概要」と「研修中の生活」について紹介します。

次に、インターネットによる講義配信 NISE学びラボの中から、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」と「インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進－特別支援教育の理念と基本的な考え方－」の2つの講義を受講していただきます。これらは、研修に参加するに当たり、前提として知っておいていただきたい特別支援教育の基本的な内容に関する講義です。

これらコンテンツ等とおして、事前の準備を行い、安心して専門研修に参加していただきたいと願っています。

なお、令和3年度より、一部受講要件に満たない場合は、受講前に、上記「事前学習コンテンツ」に加えて専修プログラムが指定する講義の視聴等を行うこととなっています。

講義の基となっている書籍



『特別支援教育の基礎・基本
2020 新学習指導要領対応』

独立行政法人国立特別支援
教育総合研究所(著)

ジアース教育新社 発行

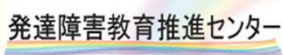
4

「2. 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」と「3. インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進－特別支援教育の理念と基本的な考え方」の講義内容は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所が作成した『特別支援教育の基礎・基本』という書籍の「第Ⅰ章 特別支援教育の基礎」に掲載されている内容を説明したものです。

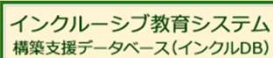
また、本書籍には、各障害に応じた基本的な内容も掲載されていますので、受講に際してあらかじめ目を通しておくなどして参考にしていただければと思います。

参考情報(研究所Webサイト)

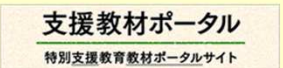
- 発達障害教育推進センター

http://icedd_new.nise.go.jp/ 

- インクルーシブ教育システム構築支援データベース(インクルDB)

<http://inclusive.nise.go.jp/> 

- 特別支援教育教材ポータルサイト

<http://kyozai.nise.go.jp/> 

5

本研究所のWebサイトには、特別支援教育に関する様々な情報が掲載されていますので、指示された事前学習に加えて、自主的な情報収集にご活用ください。

ここでは、3つのサイトを紹介します。

一つ目は、「発達障害教育推進センター」です。

このサイトでは、発達障害のある子どもの教育の推進・充実に向けて、発達障害にかかわる教員及び保護者をはじめとする関係者への支援を図り、さらに広く国民の理解を得るために、Webサイト等による情報提供や理解啓発、調査研究活動を行うことを目的としています。

二つ目は、「インクルーシブ教育システム構築支援データベース(略称:インクルDB)」です。

このサイトでは、教育の関係者に向けた理解啓発や具体的なインクルーシブ教育システム構築支援に関する情報を提供することを目的としています。

三つ目は、「特別支援教育教材ポータルサイト」です。

このサイトでは、教材・支援機器の活用に関する実践事例や関連情報を広く提供することを目的としています。

Ⅱ．専門研修の概要



6

それでは、ここからは、「専門研修の概要」について説明します。

特別支援教育専門研修

- ・ 対象: 障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員
- ・ 目的: 指導力の一層の向上を図り、今後の各都道府県等における指導者としての資質を高める

7

特別支援教育専門研修は、障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員を対象にして、指導力の一層の向上を図り、今後の各都道府県等における指導者としての資質を高めることを目的としています。

特別支援教育専門研修では

- 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース
- 知的障害教育コース
- 発達障害・情緒障害・言語障害教育コース

8

特別支援教育専門研修では、「視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース」、「知的障害教育コース」、「発達障害・情緒障害・言語障害教育コース」の3つのコースを開講しています。

これらのコースは、第1期(5月～7月)、第2期(9月～11月)、第3期(1月～3月)のいずれかの期間に毎年度1回開催します。各コースの開催期間は、毎年度ローテーションしています。

新型コロナウイルス感染症への対応

【1型研修】

- ・2ヶ月間全ての期間の研修を来所型で実施

【2型研修】

- ・オンラインを基本として2ヶ月間の研修を実施
- ・一部の期間で来所型研修を実施

【3型研修】

- ・2ヶ月間の全ての期間の研修をオンライン型で実施

9

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、スライドに示した三つの方法により研修を進めてまいります。具体的な研修方法については、事前に教育委員会等を通じてお伝えしてあるとおりです。

専門研修の構成

①講義・演習

②実地研修

③研究協議

④課題研究

⑤研修のまとめ

○コース共通の事項(共通講義)と、
各障害教育の専修プログラム(専
門講義)から構成

○発達障害・情緒障害・言語障害
教育コースでは、上記に加えて
「選択プログラム」から構成

10

専門研修の内容は、コース毎に、講義・演習、実地研修、研究協議、課題研究、で構成されています。また、最後に「研修のまとめ」を行います。

参加した研修員は、研修プログラムにしたがって研修をすすめます。

各コースは、コース共通事項のほかに、各障害教育の専修プログラムで構成されています。

講義時間・研修時間

○研修時間

8:30～17:15

講義時間の前後は自主研修の時間

○講義時間

【午前】 9:15～12:15

【午後】13:15～16:15



11

研修時間は8時30分から17時15分までです。

そのうち、講義の時間は、午前中は、9時15分から12時15分まで、午後は13時15分から16時15分までです。

講義時間の前後の時間は、自主研修の時間として、有効に活用ください。

実地研修

＜目的＞

充実した取組を行っている関係機関を訪問・視察することを通して、指導・支援の場の工夫や授業及び指導・支援の在り方等に関する知見を得る

- ・ 専修プログラムごとに訪問先を設定
- ・ 【2型研修】
来所時に実施又はオンラインを活用して実施
- ・ 【3型研修】
オンラインを活用して実施

12

実地研修は、充実した取組を行っている関係機関を訪問・視察することを通して、指導・支援の場における具体的な工夫や授業及び指導・支援の在り方等に関する知見を得ることを目的としています。

訪問したり情報収集する機関は、専修プログラムごとに設定されています。

研究協議

<目的>

課題を整理する力、話し合いをまとめていく力を養う

- 課題解決に向け、グループによる自主的な話し合い
- 研究所のスタッフは、必要に応じて対応



13

専門研修に参加する研修員には、事前レポートとして研究協議で深めたい課題を提出していただきます。

研究協議は、各自の課題等について、共通する課題、あるいは関連する課題ごとにグループを編成することを原則としています。

研修員の自主性のもと、グループ単位での協議を深めて課題解決の方策を探っていきます。

研究所のスタッフは、オブザーバーとして参加し、必要に応じて情報提供等を行います。

研究協議は、課題を整理する力や話し合いをまとめていく力を養うことを目的としています。

オンラインを活用した研修においても、Zoomのブレイクアウト機能を活用し、グループによる研究協議を実施します。

研究協議の成果発表



14

研究協議のまとめとして、グループ毎に成果発表を行います。
集合研修での様子を写真で紹介します。

課題研究

研修員の課題の解決や実現に向けて
主体的に取り組む時間

- ・ 文献を調べる
 - ・ 講義の整理やまとめ
 - ・ 所外研修
- (予め、届出が必要)



(図書室)

15

課題研究は、研修員の課題の解決や実現に向けて、主体的に取り組む時間として設定されています。

次に説明するレポートの作成に充てることもできます。

図書室で文献を調べたり、講義の整理やまとめ等を行う時間に充てたり、所外に研修に出かけたりするなど、有効に活用してください。

また、【1型研修】【2型研修】の場合は、研究所内の施設設備や資料、研究職員の研究のノウハウ等を活用した取組を行うこともできます。

研修のまとめ

- 研修のまとめとして研修レポートを作成
- 個人の課題でも研究協議の内容でも可
- 個人あるいはグループでまとめたものを提出



16

研修の終わりには、A4判縦、4,000字程度に成果をまとめたレポートを提出することとなっています。

作成は、個人で行っても、グループでまとめても構いません。

講義の前後の時間や課題研究の時間など、レポート作成に充てる時間は確保されていますので、ご安心ください。

特別支援学校教諭免許状

- 特別支援学校教諭の免許状を取得するために必要な単位の全て、あるいは一部が取得できます
- 専門研修のコースによって取得できる単位が異なります
- 別途、受講の登録が必要です

17

本研修では、教育職員免許法施行規則に基づく免許法認定講習を合わせて実施し、特別支援学校教諭の一種又は二種免許状の取得に必要な一部、又は全部の単位の取得が可能です。専門研修のコースによって取得できる単位が異なりますので、研修初日のオリエンテーションで、確認してください。

また、既に取得している免許状や単位によって、必要な単位が異なります。教育委員会に照会しておくことをお勧めします。

単位を取得する場合は、研究所に来所されてからの申請が必要です。

なお、【2型研修】【3型研修】の場合でも可能です。

免許状更新講習について

- 免許状更新講習を開設しています
- 別途、申請が必要です



18

当研究所では、免許状更新講習の開設者指定を受けており、特別支援教育専門研修において、必修、選択必修、選択領域合わせて30時間の更新講習を開設しています。

受講申込み、更新講習の履修に当たっては、勤務校の校長先生や教育委員会と連絡をとって、受講手続きを行ってください。

なお、【2型研修】【3型研修】の場合でも可能です。

Ⅲ. 研修中の生活



19

次に、「研修中の生活」について説明します。

研究所へのアクセスについて



20

まず、「国立特別支援教育総合研究所へのアクセスについて」です。

詳しくは、本研究所のWebサイトの交通案内をご覧ください。

本研究所は、神奈川県横須賀市に設置されております。三浦半島の先端付近に位置します。

最寄り駅からの交通の便は、あまり良くありませんので、開講日の受付時間に遅れることのないよう、余裕を持ってご移動ください。

来所に当たって



(バス停から見た研究所研究管理棟)

21

バス停の奥に見えるのが研究管理棟です。

このように最寄りのバス停からとても近くに研究所があります。

研究所の構内は、スロープ、点字ブロック、手すりなどを設置し、障害のある方に配慮し、施設整備を行っています。



22

航空写真での本研究所周辺です。

研究所の周辺は、相互連携協力機関である「筑波大学附属久里浜特別支援学校」が隣接し、研修カリキュラムに見学時間を組み込むなど、研修環境に優れた立地と言えます。

「研究管理棟」には、研究所スタッフの研究室や会議室、図書室等があります。

道路を挟んで向かい側には、講義や研究協議が行われる「研修棟」があります。そのすぐ近くに、「食堂」と「宿泊棟」があります。

集合・宿泊研修期間の開始日には、バスの進行方向に少し歩いていただき、研修棟に集合することとなります。

宿泊棟での生活について

- 集合・宿泊研修のための施設(個室)
- 生活上必要な消耗品等(トイレtpーパー、石鹼、洗剤など)を予め準備
- 研修員による自主的な運営
- 自炊は不可

23

宿泊棟での生活における留意点をお伝えいたします。

まず、集合・宿泊研修のための施設であり、個室での生活となります。コロナ禍にあつて、通常どおりの感染症対策を、引き続きお願いいたします。

なお、生活上必要な消耗品等(トイレtpーパー、石鹼、洗剤など)は、個人負担となり、予め準備する必要があります。

また、宿泊棟には「管理人」が常駐しませんので、研修員の皆様に自主的な運営をお願いしています。

煩わしいと感じられることもあるかと思いますが、互いに気持ちよく利用できるよう、ご協力をお願いします。

最後に、ご不便をおかけしますが、自炊はできません。併設する研修員食堂をご利用ください。

オンライン研修期間中の生活について

- 心身の健康について
- 体調不良時の対応について
- 研究職員への相談について

24

オンライン研修期間中の生活について、

・パソコン等に向き合っの研修となり、講義等では、適度に休憩を取り入れて行いますが、心身の健康に保持にご留意ください。

・体調等がすぐれない場合など、研修休暇の手続きも可能ですので、研究所研修支援室までご相談ください。

・随時、担当研究職員への相談もメールしていただいて構いません。

よろしくお願いいたします。

情報ネットワークの利用について

- 研究所の情報ネットワークを利用可能予定
- 各居室にてLANケーブル接続又はWi-Fi接続によるインターネット利用が可能



(図書室前のブラウジングコーナー)

25

研究所の情報ネットワークの利用について、専門研修の受講に当たっては、一人一人にID・パスワードを割り当てる予定です。

情報ネットワークの利用については、研修開始時のオリエンテーションで、担当者より説明します。

なお、各居室で、LANケーブル接続又はWi-Fi接続によるインターネット利用を可能とする予定です。その際、パソコン等やLANケーブルは各自でご準備願います。

研修員食堂について

- 朝食、昼食、夕食をとることが可能
※研究所の近隣には飲食店やコンビニがありません。



(研修員食堂)



(昼定食の一例)

26

研修員食堂について、説明します。研究所の近隣には、飲食店やコンビニがありませんが、研究所が委託している食堂を利用することが可能です。

食堂では朝食、昼食、夕食をとることができます。

なお、集合・宿泊研修期間中は、予め食券購入をお願いしています。

研修員食堂は、職員も利用しますので、「密」にならないよう、利用時間を調整させていただきます可能性があります。

モニュメント 『子どもとともに』



研究所職員一同、心よりお待ちしております。

27

専門研修の概要や生活面のことについては、開講式以降、改めてオリエンテーション等を行いますので、その際に、より詳しく説明します。

皆さんは、家族から離れ、知らない土地で研修をすることに、大きな不安を抱えているかもしれません。

あるいは、長期間にわたるオンライン研修に不安を感じている方もいらっしゃるかもしれません。

しかし、専門研修には全国から志を同じくする人たちが集まってきます。この機会に、是非、多くの仲間をつくってください。

また、研究所職員も皆さんの研修を支えていきますので、何か困ったことがありましたら気兼ねなくご相談ください。

研究所職員一同、心よりお待ちしております。